夕刊
磐城新聞
一月二十三日發行

休刊大祭日第一第三日曜
定價　一部二錢　一ヶ月六十錢　郵税十五錢
廣告料　發行　六十錢　指定　廿錢增
發行兼編輯印刷人　要沼榮
福島縣平町田町十六番地
發行所　磐城新聞社　電話五六四番

美人詩抄 (12)

赤井嶽男

月未墮　李太白

東陽素足の女、會稽素舸の郎。相看るに月未た墮ちず、白地肝腸を斷つ

東陽村の女は纒足せずして郎ち素足である。夜河岸に立つて水の流れを眺める、水には飾りの無い舟があり中に會稽村の男が居る、今この村娘と野郎とが互にその顏を相看んに月は未だ西山に隱れずして能くその眉目を明かにする事が出來た郎ち野郎と村娘との事であるから露骨に秋波を相送つて短刀直入にその心を示した、そうであるから兩者は情意投合して容易にその地を去る事が出來ず共に脊々の情を示して互に斷腸の思ひある事を語る。何等純眞(?)なる好田舍景ぞ

婦人苦　白居易

嬋鬢は意を加へて梳り蛾眉は心を用びて掃ふ。曉粧成れども君は看て好しと言はず、妾が身は同穴を重ずるも、君が意は偕老を輕んず、惆悵去年來た、心に知れども亦未だ道ふ能はず、今朝一たび口を開く。語少くして意何ぞ深き、願はくは他時の事を引いて、君が此の日頃の心を移さん。人は言ふ夫婦の親み、義は合して一身の如しと、死生の際に至るに及んで、何ぞ曾て苦樂を均しからん

妾が恰も蟬の翼の如き色をなした鬟を梳るや必ずしも意を凝らして之れをなし又その蛾眉を拂ふや常に心を用ひない事はない、斯くて精粧は幾たび成るも夫君は未だ看て以て『たゞ綺麗だな』と褒めて下すつた事がない。噫、何ぞ妾がハズの無情なる。啻にそればかりでなく妾は同穴を重ずると雖も夫君は則ち然らずして常に偕老を輕んずるの風がある、されば妾は去年以來は惆悵として悲しまない日が實に幾らもない、又夫君がこの心をば常に察しないではないが未だ之れを口に言ふ事が出來ずして而して今日に至つた、斯くて今朝一たび口を開いて以て言はんとすれば云はんと欲する處多く而も口は澁つて言葉少く却々に云ふ事が出來ない故に願はくば他事を引いて以て夫君がこの心を改めようとした。則ち人は云ふ、夫婦の親しみは義、合して一身の如しと、されども生死の際の如きに至つては、何ぞ曾て苦樂を均しくするものあらんや

武藏野冬居吟

茂田井子黄

草の色黄いろになりて霜枯れし道遠く見ゆ人のとほれば
このあたり鳩は來鳴かむ檜の葉のうつろひそめて日に黄ゆるなり

小居

秋深く散りがたになる桐の葉の露霜おける音のひそけさ
ひそかにしぐるる庭の杉苔のその長き穗にこころしたしむ

冬三題

朝ながらふた葉に凍てる菜畑の光しづけし霜しづる音
水溜の底ひひそかに子子の生きうごきをり冬日は照りて
水溜に移し飼ひせる池の魚日をし經たれど浮び上らず

—(今月今日)—

△堀織部正を蝦夷地に遣し露西亞と境界を議す—(安政元)△ベーコン生る—英國哲學家中の最も著明なるものにしてアリストートルの論法却ち演繹法に對し歸納法の大成者として稱せらる、その論文集は名聲嘖々たるものである(紀元一、五六一)—昨紙の分十二行本文と入れ違ひに付訂正—△幕府勝安房を陸軍總裁となす(明治元)

ラヂオ

仙臺 JOHK

……廿四日(土曜)……

△前七、〇〇 七、三〇B ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象通報
△九、〇五 經濟市況
△九、一〇 料理献立(魚田さ人參のアチャラ煮)石龍たか發表 日用品値段(薪炭るい)
△九、三〇 一〇、二〇A 經濟市況
△一〇、三〇 一一、〇〇A 家庭講座(日本の都市と外國の都市)有原末吉
△一一、〇四〇A 經濟市況
△正午 時報
△後〇、〇五 〇、四〇A 花浪節(國定忠次)木村重正
△〇、四〇A 全國ニュース、氣象通報、告知事項
△一、〇〇 一、五〇A 經濟市況
△二、〇〇 二、三〇 家庭大學講座
△二、三〇A 經濟市況
△三、四〇 氣象通報積雪量
△三、五〇A 經濟市況
△四、〇〇A 全國ニュース
△五、〇〇 五、三〇 趣味講座(歐洲スケート界の現狀)五代正友
△五、三〇A 經濟市況
△五、四五 今晩の番組豫告
△六、〇〇 六、三〇(子供の時間)『童謠と唱歌』福島縣伊達郡小學校兒童 指揮大友文樹
△六、三〇 七、〇〇A 美術講座(新しい洋畵の理解)里見勝藏
△七、〇〇A 全國ニュース(官廳ニュースを含む)ニュース、氣象通報、番組豫告、告知事項
△七、二五 八、〇〇H スケート座談會
△八、〇〇 八、五〇B 放送舞臺劇(鹽原多助經濟鑑 場景本所四ッ目掛茶屋の場)
△八、五〇 九、三八B 義太夫朝(顏日記宿屋の段)淨瑠璃豊竹昇之助、三味線豊澤新造、琴鶴澤友駒
△九、四〇A 時報、全國ニュース、氣象通報、番組豫告、告知事項

拈華微笑

◇新田町の涎れ高が澤山もないがざつと年廿萬圓

◇首席で通す平署今度丈け四等。

◇心配するな縣下の火事統計だ

◇今春新川の櫻を見度いお方は移植費の內へ應分の寄附する事

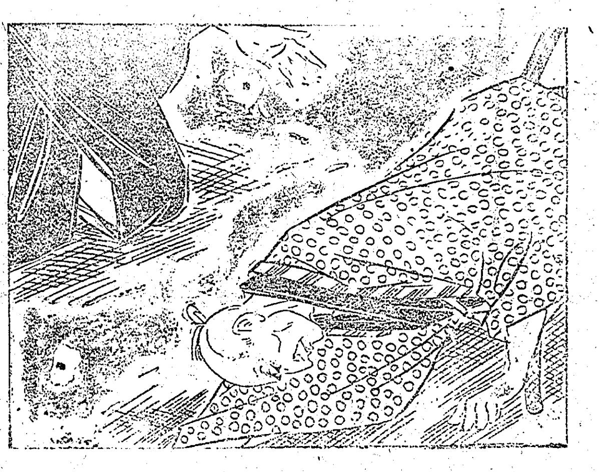
◇內氣な子供にも口問口答原則制度逆戻り親の心配も亦逆戻り

◇變態性慾で放火狂。物騷まさに百%

講談 堀部安兵衛

東京　桃川燕二演
村田月光畫

(一五四)



『其節貴父池田玄蕃此の小柄を、某に渡し、一代此文字を忘れるなとの御教訓、某の本心は此文字にあつて他にあることなし今日に至つて變心あるべきや』……『金右衛門は再び其手には乘らぬぞ、變心せぬものなら連判狀を何故切つた、天地神明へ何故小柄を立てた!』と詰寄る……『サア夫れには深き仔細あり、赤穗を去つて後山科に閑居以來は、偏に利殖に耽り子孫の後榮を計るの外、揚茶屋の酒に臓腑を腐らし、故主の仇を討つが如き存念毫も無き體を裝ふは、是れ吉良の間者を恐るゝが爲め、然るに計らず昨日某の母並に愚妻伜ども打寄つたる處にて母よりの尋ねに仇討は何時頃なるや又江戶表へ出發立は何時どのことを尋ねられ左樣なことは頭なく仇討の催しなぞ曾てなしと申したるところ、然らば連判狀に多くの人の神文血判あるは如何に、と何時何うして知りたるか連判狀の一儀にの頭領として各々方から信を置かれる某が、同じ家に居るとは云へ女風情に見拔かれたとあつては大敵吉良上杉家の眼を晦ますこと思ひも寄らず、此上は母愚妻の疑念を晴らし愛想を盡かして愚妻をさと方へ追返すにしかず、足手纒ひを去るは此の期にありと存ぜし故島原がらはたいこ末社を呼寄せ、我ながら驚く可き阿呆を盡くすのみならず、連判帳を切拔き其事なきを明がにして母愚妻を欺く、態を計らんとせば先づ味方を計るの苦肉の策、夫れが爲め神文に小柄を立てたが其神文を破る志少しもなし左れば神罰を蒙ることもあるまじきで、御父子內藏の心は右の如くお分りになつたるか』と膝を進めたる時に金右衛門如何なしけん……『ウ、マ』といふと前へバッタリ……『これはしたり如何なされた』……『ウ、、ム』……『九十郎手當を——』……『バッ』と九十郎金右衛門の側に馳寄つて抱起し介抱したが最う口を利くことが出來ませぬ、餘り興奮仕切つたところへ內藏介に本心を明かされ、急にハッと思つた、夫れがために早打肩——腦充血を起したのでございませう、其處へ堀部安兵衛が乘込んで來て此の体を見……『扨々殘念千萬、何れ何か事は起らうとは思つたが、急病を起すとは夢にも知らなんだ、斯くと知つたら無理にもお引止め申すところだつたが是も定まれる運命か』……『オゝ堀部がどうして此處へ』……『ヤハリ血判切拔きの一條に就て同志一同の名代に罷出たが、最早彼是れ申すには及ばん、何は扨ておき此の岡野の始末を致さなくては——』……『今座敷には島原たいこ末社が多勢來てゐる、悟られるのは不覺の基、萬事は堀部よき樣取計らつて呉れ』……『心得ました』……『九十郎嘆くは尤もだが定まる因果、金右衛門靈あらば聞け、九十郎は今日より親の名を繼いで金右衛門其金右衛門が天晴お役に立つ以上は、親が御奉公申したと同樣である泉下へ參つたらば冷光院殿へ同盟が苦心の段を申上げて呉れ』忽ち呼吸を引取つた金右衛門に對し冥土の傳言を賴んだ、冥土の傳言は內藏介ばかり……其儘小座敷を立出でたが、今迄キチンとしてゐたに引替へヒョロ〳〵よろけながら廣間へ歸つて飮めよ唄へ……其處と安兵衛が千葉三郎兵衛を呼び……『晝の間は如何とも致し方がない、夜分に及んで金右衛門は輿に乘せて小野寺の方へ送らう』…『如何にも左樣』安兵衛と三郎兵衛は手筈の打合せをして、死骸はこわばらん用意をし、日の暮れるのを相待ちます。

廣告

時計職見習生募集
十四五才ゟ詳細面談要保證人
平町　精幸堂

毛糸!

國産優等毛糸	一オンス	十一錢
國産中細毛糸	一オンス	十三錢
國産極細毛糸	一オンス	十四錢
國産霜降毛糸	一オンス	十五錢

編物器具類ナラドンナ品デモハシモトヤデ御間ニ合セ致シマス
平町田町　ハシモトヤ糸店

內科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平局五〇七番

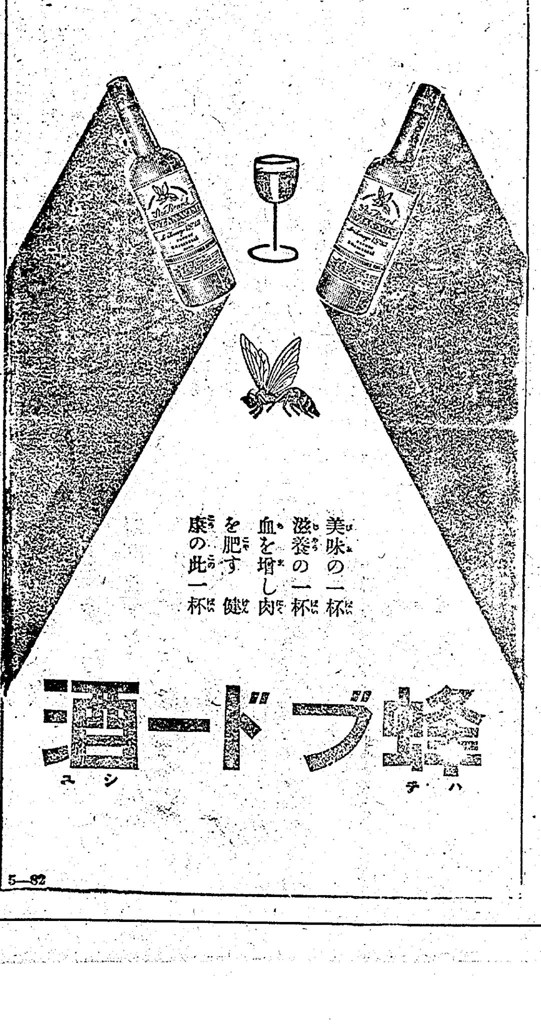
神戸牛そこのけの優秀清新の……
牛肉大値下

ヒレ	百匁	九〇
ロース	同	七〇
上肉	同	四〇
並肉	同	二五

お用命次第いか程にても早速お届け致します
電氣すき燒器を取付けました
スキッチひとねじりで直ぐグツ〳〵と煮上ります。正に超スピードです……
味は?これ自慢ながら百パーセントです
お家族樣御同伴を歡迎いたします
平町田町
牛豚鳥料理　石川亭　電四三

夜間診療
胃腸　內科　十二指腸虫病　專門　內科部
梅毒　淋病　皮膚病　婦人病　專門　外科部
松村胃腸性病科醫院
(平南町電話一〇七番)

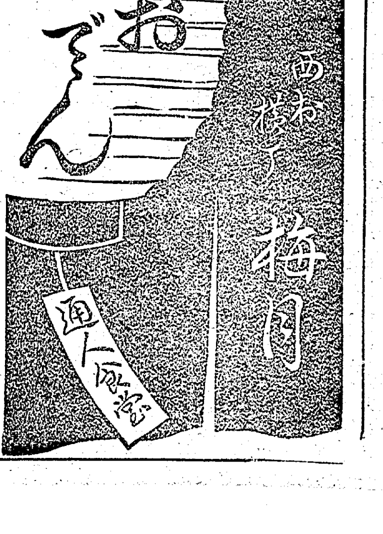
特賣!!!
たひら正宗　福島縣清酒品評會一等受領
花春　同　優等賞受領
醬油釀造元
鹽屋　山崎合名會社
電話一〇番


美味の一杯
滋養の一杯
血を增し肉を肥す
健康の此一杯
蜂ブドー酒

修繕料半額値下斷行
親切叮嚀迅速
時計　貴金屬　眼鏡
秋山時計店
有聲座前

學生外套特賣
酷寒・强雨ニモ耐ヘ生地型・仕立百パーセントの黒ラシャ外套特價提供
中學用(極上) 8円50銭
小學用(同) 5円50銭
全部頭巾付
あかや洋服店
平二　電203

平町田町
高久病院
電話五一三番
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹菊雄
內科　小兒科
外科　花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科



春□□春

微かに乍ら奏でられる 好景氣への行進曲

お正月中の平花柳界 什麼具合に過したか

はち切れそうな希望をのせて朗かに來た一、九三一年地方の景氣を計量するに最も手近なメートル尺として平町の花柳界かこの正月を如何にして過したかを見る玉帳の總元締町會議員の國府田さんが語る處によると松の內當時の藝妓數は大小合計九十二名で一日から十日迄の總賣り上げが一萬四千本之の金額一萬圓で之れを昨年同期の總行司に比べると約四千本三千圓の減收また本年第二回目の行司である十一日より二十日迄の賣り上げが一萬本（七千六百圓）で之亦前年同期間に比し二千本（千五百圓）程の減少であるが右は藝妓數に於いて前年から十名を減少してゐるので藝妓數約一割の減少に對して第一回行司に於いて約三割方二回に於いて二割の減少を來した事は割合に於て一二割の高率ではあるが或る程度迄藝妓數の減少に伴ふ當然の結果と觀ねばならない、而も前年に比べ第一回行司の三割減少が第二回目のそれに於て二割に好轉を示してゐるのはその間景氣の上向きを察知する事が出來て些か意を强ふするに足るものがある

との事で而もその筋の調査による昨五年中の總賣り上高が十九萬六千二百四圓十四錢外に半玉六千四百七十五圓合計二十萬二千六百七十九圓十四錢（二十六萬六千六百七十本）の巨額に達したに至つては先年殆んと底無し天井知らずの好况に恵まれ大小二百名近の藝妓を以て燦然新田町の黄金時代を現出した當時に比べては素よりお話しにはならぬが一から十迄緊縮づくめの折柄單り花柳界のみは微か乍ら漸次好景氣への快い行進曲が續けられてゐるものと觀る事が出來る

移植費を捻出し 新川の櫻を保存

初念の遂行を期して 寄附募集を開始

平町新川に於ける惡水豫防工事の着手に伴ふ櫻樹の保存問題は過般來酒井國三郎氏等を中心とする新川堤記念櫻樹保存會より豫防組合長伏見平町長並知事及內郷飯野關係兩村長に對し之れが保存に關し詳細陳情した關係もあり之際斷然之れを撤去する如き無粹に出でず何とかその間の緩和策が行はるるではないかと觀測さるる旨既報の通りであるが最近當局に於いても大に保存論者の熱意を諒としたものの如くこの程伏見組合長より保存の條件として移植費の捻出方を回示し來つたので一部の素志達成に力を得た保存會では直ちに同志の協議會を開いた結果之れに要する費用約五百圓を一般有志の寄附に俟つことと し寄々活動を開始したので一時今後の命脈を危ぶまれた新川端の櫻は來ん春も亦從前通り爛々萬朶の姸を誇り夜はその間を點綴する無數の電火に彩られて新川の流心にその美觀を投ずることとなるべく斯くして松ケ岡公園と相呼應し『櫻の名所平町』を持續さるる形勢に在る

平町會議案

平町町會は二十四日午後一時役場會議室に於て開會と決定したが、協議事項は左の四つである

一、區長及區長代理推擧の件

二、水道擴張部職員、月額旅費、規定制定の件

三、大工町踏切改修請願の件

四、特別稅戸數割隨時賦課額決定の件

試驗方針 逆戻り

校長の內申と口問口答原則

本縣の中等學校入學考査方針に就ては、かねて縣當局が考究中であつたが全國視學官會議に於て指・されるところあるので同方針に基づき執行することになり來月開く中等學校長會議でこれが協議を行ふが卽ち昨年の方法は筆問筆答に重きを置き從來の試驗と何等變らず依然試驗地獄の弊を再現した觀あつたので眞の考査方針に則り小學校長の內申を主としなるべく口問口答必要に應じ一部に筆問筆答をなすといふ最初の考査方針に逆戻りする事になつた

磐城高女に 山岳部組織

平町磐城高等女學校職員十六名は今回山岳部を組織したが最初のプランとしては今夏の休暇を利用し日本アルプスを踏破する豫定であると

失職鮮人三十名 小田炭礦に入る

三宅親分の就業開拓

地方在住朝鮮人中の有力者である好間村居住三宅留助は石城地方に於ける同族三百餘名から常に慈父の如く慕はれよくその誘掖指導に努め過般磐崎村藤原の三井炭礦廢山當時失職した六十名等に對しても何くれとなく面倒を見て內半數は數日前より平水道工事に採用されたが殘り三十名もその儘放置する事が出來ぬと云ふので百方奔走の結果偶々高橋亀松氏の助力を得二十七日より小田炭礦荻原礦業所の坑夫として採用さるゝ事になつたと

女子青年團 第三方部會

郡聯合女子青年團第三方部總會は二十六日午前十時から平館で開催し生命の泉主幹二瓶一次氏の講演後餘興の活動寫眞を映寫する由

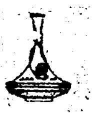
例の威張れぬ一等にならずに濟んだ平署

火災件數では第四位 昨年中縣下の統計

その筋の調査による昨年中に於ける縣下の火災原因、損害その他の統計を見ると原因は小供の弄火が三十件を筆頭に提灯の置き忘れの二十九件、コタツの不始末二十九件、取灰の不始末二十六件で發火の最も多かつたのは郡山の二十八件に次いで中村の二十一件、喜多方二十件いづれも統計では首席を通す平が二十件、原の町が十六件で發火度數三百十五件、燒失した家屋三百七十四戸の七百六十九棟この損害四十七萬三千四百十八圓前年に比し燒失棟に於いて百六十五棟、損害に於いて約三萬圓の減少を示してゐるこれは縣當局並に縣下各消防組員が協力火防思想普及に努めた結果によるものと思はれるが茲十年間の統計の示す處によると損害は大正十一年の最高に比すると約四分の一に過ぎない好成績であつたのでその筋では今年も大に宣傳に努めこれが防止策に當ることになつた

投檜

寄書歡迎



威張り得る資格

◇松の內にしみぐ\と感じさせられた事を年頭の感と云ふならば僕の年頭の感は『威張り得る資格』と云ふ事をつくぐ\体驗した事である

◇めつたに芝居などを覗いた事のない僕も新年を壽くべく聚樂館へ出かけたものだ。右と左に二階へ上る梯子段がある、そこへ上る毛皮の襟に金ぶち眼鏡、セウルに耳かくし、その刹那如何の多くの『得意』と『自負』とがこのブルジョアー道に續いた事よ

◇明くる日僕は五十錢銀貨を固く握つて久し振りで田町のさる食堂ののれんをくぐつたものだ、卓を距てゝ一人の男が傲然たる態度で食つて居る、餘り素晴らしい勢ひなのでよく見ると成程彼のパクついて居るのはこの店の調理品としては恐らく最高級らしいものだ最下級品の僕はうんざりした、そして箸を置いてこのブルジョアーに敬意を表することにした

◇寒い朝だつた、マントを持たぬ僕は襟卷一つで乘り合ひ自動車に乘つたと思ひ給へ、直ぐ前に一つ席があいてゐる、腰をおろすとどうだらう側の男が恐い目をむき出してぎよろつと僕を睨みつけたではないか—『貴樣氣を付けろ』と云ふやうな意味の咳拂ひに驚いて見かへると成程僕の無禮な尻は勿體なくもそのブルジョアの新調のマントを下敷にしてゐる

◇その夜錢湯へ行つたものだ、湯桶を前に仁王の樣にフン反り返つた男がゐた傍若無人と云つた態度で談笑する、彼は月極めといふ優越性をもつたブルジョアだつた

◇『威張り得る資格』を持つといふ事は土間に對して二階に上ることである十錢の支那そばに對して卵をフンダンに入れた何とかを食ふ事である、襟卷に對してマントを着ることである三日に一ぺんに對して月極めの湯にはいることである

◇だが、誰か『威張り得る資格』を持たない事を威張るものはないだらうか

（平町鐵北生）

消防成績 優良町村表彰

平署から申請

平署管內左記二十二ケ町村は大正十二年以降八ケ年間火災度數少なき爲めその筋より近く縣當局へ表彰方を申請する筈であるが該當町村の火災度數左の如し

玉川（三）赤井（一〇）平（二四）湯本（一一）永戸（六）豊間（六）磐崎（五）小名濱（五）好間（一一）三坂（三）江名（一一）下小川（一一）平窪（八）飯野（五）澤渡（三）內郷（一三）鹿島（四）高久（三）上小川（一）神谷（三）夏井（一）

農事特別傳習

農事試驗場石城分場主催の農事傳習會は來る二月二三日の兩日同場に於いて開催第一日は『果樹肥培管理』第二日は『溫床漫室設計利用』に就いて講演ある筈

植田の子殺し事件 上告の理由無し

滿天下注視の裡に 昨大審院で棄却

植田町大字仁井田下山田寅一（六三）が傷害前科を有する無賴漢で十六七の頃から諸所を流浪し屢々歸宅しては刄物三味に及び家人を脅迫してゐた二男勝榮が昭和四年十月三十一日突然自宅に歸て來て佛壇の前で手ぬぐひをひねくり廻し親父を殺してやるぞと怒鳴り散らすので三男武と共謀しまさかりで勝榮を毆打し絶命したのを見て土藏の中にほうり込んでおいた、處勝榮は蘇生し勝榮が躍り出す處を打ち死に至らしめたといふ事件は既報の如く一二審共父親寅一三男武共に殺人罪の判決を受け武は服罪したが、寅一は恐怖にかられ狼狽して行つたものであるから盜犯防止によつて無罪であると主張上告し去る十五日大審院刑事二部林裁判長平井檢事係で開廷された際も後藤辯護士の正當防衛論に對し檢事も同情の論告をして求刑に至らずその成り行きが刮目さるると云ふので大に天下の耳目を聳動せしめたが昨二十二日上告理由なしとして棄却された

木炭委員會

濱三郡木炭同業組合委員會は二十七日午前九時から郡農會樓上で開催今年度豫算に關し

變態性慾者乎？ 內郷の不審男は

物騷な放火狂と判明

平署員が昨二十二日午後八時頃內郷村地內を巡視中擧動不審の二十歲前後の土工風の男を拘引嚴重取調べた處同人は同村大字宮居住元好間村上好間土工佐藤久（三二）で二十日午後十時頃同村大宮飯場頭只野粂方物置から發火直に家人が發見大事に至らず消止めた際の放火犯人で何れも大事に至らなかつたが其他前後數回に渉り同村附近へ放火した物騷な男である事判明放火の原因其他に就き目下嚴重取調中であるがどうも變態性慾者らしい處があると

農業座談會

本郡からは志賀氏出席

本縣農會主催の農業經營及び農家經濟調査打合會は廿二、三の兩日縣農會事務所に於て開會左記事項に就き協議したが出席者は地方に於ける篤農家十三名、縣農會係員、蠶糸、農務關係係員も臨席疲弊農村打開の根本策である農業の經濟經營に就き種々懇談を遂ぐるはず石城郡からは泉村の志賀澤之助が出席した

打合會順序

一月二十二日

一、開會の挨拶

二、農產加工の範圍說明及質疑問答

三、昭和六年度農業經營設計書に對する農業經營審査會の批判

四、農業經營調査簿株式說明並に記入上の注意

五、總括的質問應答

一月二十三日

懇談會（時局問題）

一、昭和五年度に於ける農業經營農家經濟の狀況に關する件

二、今後の經營に對する覺悟

※……※

明日の吉凶

※……※

舊曆十二月六日

新曆一月廿四日

▲一白の人　刻々に勢ひつきて來る日開店名弘等尤も吉▲二黑の人　跡から跡からと福の舞ひこむ日起業開店吉▲三碧の人　意の如くならざる日行違ひなき樣注意すべし▲五綠の人　意氣高ぶりて蹉跌を招き易し和合專一とす▲五黄の人　自然と活氣つき來り思はず彼岸に達する日▲六白の人　小利にあくせくせず永遠の大計を立つるに宜し▲七赤の人　自負心を生ずる時は德望事業共に失隊す▲八白の人　運氣發展し行く日婚約起業開店何れも大吉▲九紫の人　活動力の減退し易き日持久心を養成すべし

店員募集

高等小學校卒業程度

東京市日本橋區通油町二內外各種糸物商

藤掛商店採用

希望者磐城新聞社宛履歴書送付あれ面會は通知す

赤井嵐

◇古い句に『雪の日やあれも人の子樽拾ひ』といふのがある、名物の空つ風に吹き飛ばされそうな裾を氣にし乍らお座敷通ひの藝者を見ると、アノ句が思ひ出された、徒な風が裾をまくつてスカートから遠慮なく奥の方までもと吹き込むのは可哀そうだつた◇『アタイ今夜家へ歸れないわ、トテモ』と鼻聲を出して『好いでしよう、泊つても！』なんて露店の蕪のように料理屋で押賣をしてた藝者があつた◇緊縮なお客は足モトを見て値切つてる、負けとけ〳〵暮市の棚ざらへぢやないか『アラあたし暮のバーヂーデーはトウに濟んだのよ』お客曰く！、ダア。

△婚姻

大浦村仁井田夕丹五三鐵道電氣技手高木市五郎（三四）鎌田町十一岡田フサ子

（三）

▲死亡

白銀町鐵道合宿所賄人茨城縣多賀郡國分村大久保

平町人事

△出生

立町九二安積郡富久山村福原一一五伊藤熊一長男政吉

廣告

二六五今橋きの（五〇）

前田醫院

院長　前田淸美

植田町電話一二四

平町新川町

木村病院

電話一六四番

平町南町

大和田醫院

電話一〇七番

平町六丁目

木村醫院

電話三〇九番

貸切自動車の

御用命は……

尼子タクシーへ

新型セダンで乘心地の良い

尼子タクシー

電六四〇番

日本一浪曲道場破革命團

御待兼の浪曲大家揃

東京大阪浪花節研究協會主催

二世桃中軒如雲　浪花小虎丸

一風亭小柳丸　敷島小大藏

宮川右近

當る一月廿五日廿六日　二日間午後五時花火合圖開場

時節柄入場料大勉强　—大人三十錢　小人二十錢—

聚樂館

第二回長期裁縫講習會

△科目（裁縫ヲ主トシ希望ニヨリ作法料理法　編物生花等無料ニテ敎授ス）

△會費（一ケ月金壹圓）

△會場（平陽女學校）

△服裝（隨意）

△年齡（制限アリマセン）

△入會（何時デモ入會出來マス）

△特典（講習六ケ月終了者ニハ證書ヲ差上ゲマス）

石城郡平町

平陽女學校

尙本校內に寄宿の便もあり但し食費一日二十七錢で頗る底廉であります

◎レコード破りの

石炭大廉賣!!!

（磐城炭礦二等炭）

正味十貫目一俵　金卅錢也

◈品ガ良ク『値ハ安ク』ヲモツトートスル當店ハ此度超破格ノ格安石炭ヲ販賣開始致シマス

◈値ガ安クトモ品ハ惡クハアリマセン

◎磐城炭礦ノ處分的大堀出物デス品物ノナクナラナイ中ニ御注文下サイ

◎配達ハ一俵ヨリ致シマス

御注文は

—電話二三七番—

平驛前

阿部石炭商店

專門　一般內科

內科何デモ診療ハ致シマス

呼吸器病バカリデハアリマセン

平町南町六五

川井內科診療所

電話一八二番

醫學士　川井重之

女醫　川井安子